

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48′ 39″	
				経度	137° 27′ 48″	
和合沢橋 (フリガナ)ワゴウサワバシ	村道第38号線	王滝村				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
王滝村	2016.11.27	河川	無	一般道	三次	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	株式会社 長野技研	点検責任者	吉原潤一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	径間1 下部工 01 写真-6			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	地覆:欠損	径間1 地覆 01 写真-13			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)				措置後に記録	
点検時に記録					
(判定区分) Ⅱ	(所見等)	下部構造にひびわれ、地覆の欠損、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員			
1985年	9m	4.0m			
			起点側		終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

下部構造【判定区分： Ⅱ 】	その他(地覆)【判定区分： Ⅱ 】
写真 6  径間 1 下部構造 01 ひびわれ	写真 13  径間 1 地覆 01 欠損
【判定区分： 】	【判定区分： 】